

第55回中学生作文コンクール

都道府県別賞一等

未来を守る生命保険

宮崎県 都城市立沖水中学校 二学年

前田 楓果

私が生命保険に興味を持ったのは、昨年この作文コンクールに応募したことがきっかけだ。保険について何も知らなかった私は生きるということを深く考えさせられた。

昨年の熊本地震では二百名以上が、今年七月の九州北部豪雨では三十名以上が亡くなるなど、様々な自然災害や事故によってたくさんの人々が被害に遭った。そこで、残された家族はどうなったのか熊本地震を例に調べてみると、生命保険等の保険金を受け取ることができたという。遺族は保険金があったことで希望を失わず生活できたのではないかと思う。私は自分自身にも当てはまる経験はないか考えると、思い当たることがあった。

私は今保険に入っているため、部活中に足をくじいてしまったときに給付金を受け取ることができた。何度か同じようなことを経験し、毎回保険に助けられているなど実感する。また、暮らしを守るために保険をかけてくれた親にも感謝するべきだなと思った。

私が成人するまであと六年だ。『いざ保険に加入するとうとき、どのようなことに目を向ければ良いのだろう』そう考えた私は加入時に重要となることについて調べた。

まず大事になることは、万一のことがあっても家族を守ってくれるのが生命保険であると知っておくことだ。いい加減に選んでしまうと満足のいく保障を受けることができないだろう。家庭に合った保険を見つけて、笑顔で過ごすことができるのではないだろうか。あと一つ大事なことがある。それは、自分にどれくらい保障が必要か知ることだ。無駄な保障に加入するのを防ぐために保険の目的をはっきりさせ、保険期間や保険料などについても充分検討した上で契約することが大切である。私は母にも今の保険のどこに注目したのか聞いてみることにした。すると、

「毎月の保険料と保障内容を目を向けて、何社か比べて決めたよ。」と教えてくれた。つまり、複数の保険会社を見比べることも大切なのだ。

私は、万一のとき家族を守ってくれるのが生命保険だと知ったこ

第55回中学生作文コンクール

とから、『将来も健康で何の保険も使わなかったら保険に入ったことを後悔するだろうか』と考えた。なかには後悔する人もいるだろう。しかし私は「万一」のための保険なのだから、健康だったとしても保険に入ったことは間違いではないだろうと思う。

今回、熊本地震のことや保険加入時のポイントを調べて思ったことがいくつかある。一つは生命保険の大切さについてだ。いっどこで起こるか分からない自然災害に巻き込まれた場合に、私たちを支えてくれる保険はかけがえのないものだと思った。もう一つは、加入する際は知人や営業の人などに流されず自分の意志で選ぶべきということだ。保険に加入する目的をしっかりと持ち、自分に合った保険を選ばなければいけないということを学ぶことができた。

未来を守ってくれる保険は、私たちにとって身近なものだと感じた。私は、今回学んだいろいろなことを将来の保険選びに生かしていきたい。